

「私たちのまち自慢」

～GISを使った魅力的なまちの紹介～

提案の主旨

私たちが住むまちには、たくさんの魅力的な風景、遺産、建築物等があり、また名人と呼ばれる人や素敵な人がいます。そのような物や人をもっと知り、或いは知ってもらうことも魅力的なまちづくりにとって大切なことだと考えています。そこで、1村1品に限らず身近なたくさんの「私たちのまち自慢」を、簡単に誰でもが紹介したり参照できる仕組みがあればいいなと思いました。ここでは、Webと地理情報システム（GIS）を活用したシステムの構築を提案し、“まち自慢運動”として展開することで、「魅力ある九州づくり」に寄与したいと願っております

1. まち自慢の概要

私たちの「美しいふる里」や「魅力ある九州」の基をなす物は、心の安らぎを感じる身近な山や川などの自然であったり、祖先が残してくれた遺跡や伝統文化のほか、九州の経済基盤となる各種の産業および社会資本であると考えられます。それらは私たちの身近な物ではありますが、ある人にとってあたりまえの物が、ある人にとっては新鮮に感じられる物も多くあります。

「私のまちにはこんな素晴らしい景観がある」、「僕のまちにはこんな技を持った名人がいる」、「町内のNPOはこんな素晴らしい活動をしている」、「我がまちの遺跡は全国的には知られていないが、こんな所はすごいんです」などの自慢は各地にあるのではないのでしょうか。それらをインフォメーションしあうことが、九州の魅力の再発見につながり、人や物の流通を生み、先例として新しいまちづくりの基礎となっていくものと考えられます。

今までにもテレビや雑誌で著名な観光地や名産、伝統文化等の紹介は行われてきましたが、知られていないところや魅力的なところはまだまだ沢山あると思います。紹介したいのだけでもその手段がないと思われる人も多いのではないのでしょうか。

そこで、誰でもが参加出来、簡単に“まち自慢”を書き込みおよび参照出来るシステムを構築し、1村1品運動のように「私たちのまち自慢」運動を広く展開することを提案します。将来的には、Web上で「私たちのまち自慢コンテスト」を開催したり、優れた内容のものはまとめて紹介したり、分析して今後のまちづくりの基礎資料とすることも可能となります。

2. システムのイメージ

インターネット上で、地理情報システム（GIS）を使って“まち自慢”に関するデータの書き込み参照が出来るシステムをイメージしています。

家のパソコンや携帯電話を使い、紹介したい物や人に関する情報を九州地図から場所を選定して入力します。地図をインターフェイスとしたデータベースが構築されます。参照したい人は、「私たちのまち自慢」のホームページにリンクし、九州地図に書き込まれた情報の中から必要な箇所を選択すると、入力されたデータが表示されます。

国土交通省等の国の機関、地方自治体のほか、九州の主要な企業のホームページからリンクできれば、より多くの人々の利活用を図ることができると考えています。

システムのイメージを図 - 1 に示します。



図 - 1 システムのイメージ

3. 利活用の分野

利活用の分野としては、次のようなことが考えられます。

まちづくり

- ・各地のまちづくりに関する知恵や工夫を知ることができる。
- ・相談できる人のネットワークが広がる。
- ・NPO法人やボランティアに関する情報の交換の場となる。

観光 対象地の選定 訪問記録

- ・マスコミに取り上げられた名所旧跡だけでなく、皆さんに知られていない一寸した“素敵な場所”の地図ができる。
- ・旅行等で素晴らしい場所や人を発見したときに、その記録として残す。
- ・地図上にインプットされたデータをもとに、旅行やハイキングなどの計画を立てる。

学校教育 全国の学校の学校自慢 地域の名所名産

- ・子ども達が地域の情報地図をつくる。
- ・各学校の自慢を書き込み、閲覧することで、見聞を広めるだけでなく、IT教育の効果も期待できる。

4．おわりに

人々の情報交換、意見の収集等に対する施策は、各地でいろいろな形で実施されています。しかし、このように自由に書き込みが出来るシステムをWeb上で公開すると、モラルやセキュリティに関する事で問題となり、構想の実現に際しての大きな障害となっていることが多々あるようです。しかし、これらの事は、よりよいネットワーク社会の構築のためには避けては通れない、解決すべき課題でもあります。

今回の提案の最も重要なポイントは、『自分のまちの自慢をすること』に徹することで、評価や批判をしないシステムをつくることにあります。私たちのまちの良い所を出し合うシステムを構築し、新しい発見や考え方につなげることで、一歩進んだまちづくりの形が構築できるのではないかと期待しているところです。

以上